

『さっきゃま魂』

R4. 6. 23 第5号

発行人：校長 中山 末永

修学旅行に大満足！ ～ 確かな成長を実感 ～

6月15日（水）から17日（金）までの3日間、5・6年生の修学旅行を実施しました。梅雨時期でもあり、旅行期間の天候を心配していましたが、3日間とも晴天に恵まれ、計画通りの活動を実施することができました。

今回も、コロナ禍での実施ということでしたが、佐賀県まで足を伸ばすことで、新たな発見・初めての体験が盛りだくさんの内容だったと思います。

子ども達は、各見学地での活動を楽しんでいましたが、私は、子ども達の見学する姿を楽しみながら過ごしていました。学校外での子ども達の言動から感じたことは、「**学校での学びが、校外での活動にしっかり生かされている。**」ということです。

例えば、「**ここに挨拶**」 子ども達は、待ちに待った修学旅行ということで、出発のときからウキウキしていました。福江港ターミナルに着くと、早速元気な挨拶が聞かれました。

「元気だね～」

突然の子ども達の挨拶に、少し驚かれたようでしたが、嬉しそうなつぶやきを聞くことができました。

吉野ヶ里歴史公園では、他校の児童とすれ違う場面がありました。お互いに元気な挨拶を交わすことができ、清々しい気持ちで後ろを着いていきました。

すると、おもしろい会話が聞こえてきました。

「あの人たちは、中学生かなあ。」

「でも、制服を着てなかったね。」

もちろん、同じ小学生同士でしたが、本校の子ども達の姿から、「すごいなあ。」と感じるものがあったのでしょうか。

もう一つは、「**話の聞き方**」これも、重点的に指導してきているものです。旅行中はバスガイドさんや施設の方々の話を聞く機会がたくさんありましたが、どの場面でも相手の話にしっかり耳を傾け、うなずいたり、つぶやいたり、自分の考えを発表したりする姿が見られました。

特に印象的だったのは、「長崎県美術館」です。今回は、展示された作品を自由に鑑賞するのではなく、係の方の説明を聞きながら鑑賞することにしていました。

早速、1枚の絵をみんなで鑑賞し、題材や作者の思いなどについて話し合いました。

「この絵に描かれているものは何だろう？」

「どんなメッセージが込められているんだろう？」

係の方の問いかけに対して、真剣に考え、様々なつぶやきをします。そのつぶやきが次の説明につながり、より深く作品を理解することにつながりました。また、作品について話し合う場面でも、自分の感じたことを素直に伝え合い、それぞれ思いをみんなで共有し合うことができました。まったく違った考えに、びっくりするような反応もあり、作品鑑賞の楽しさも感じることができました。

この他にも、子ども達の良いところをたくさん発見し、一人ひとりの確かな成長を感じることができた充実した3日間でした。この経験が、これからの学校生活をより良く変えていくきっかけになるだろうと期待しています。

1学期も残り1ヶ月を切りましたが、今後も「さっきゃま魂」にこだわりながら根気強く指導を重ね、**本物の力**を身に付けさせたいと考えています。

